



平成 21 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社宮入バルブ製作所
代表者名 代表取締役社長 佐野 邦男
(コード番号 6495 東証第 2 部)
問合せ先 総務部長 市原 昭
(T E L 03-3535-5575)

(訂正)「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 (非連結)」の一部訂正について

平成 21 年 8 月 6 日に発表いたしました「平成 22 年 3 月期 第 1 四半期決算短信 (非連結)」の記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

2 頁

4. その他

【訂正前】

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 無

②①以外の変更 無

【訂正後】

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更 (四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 無

②①以外の変更 有

4. その他

【訂正前】

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

有価証券の保有目的の変更

当社は、平成 21 年 6 月 26 日開催の定時株主総会において定款の変更が決議され、事業目的のうち「有価証券の保有および運用」が削除されました。これに伴い、当社保有の売買目的有価証券の保有目的区分を変更し、当第 1 四半期会計期間末でその他有価証券に変更しております。

なお、この変更に伴い、「有価証券」(流動資産) 39,697 千円を「投資有価証券」(固定資産)へ振り替えております。

【訂正後】

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① デリバティブ取引の会計処理

当社は、前事業年度の第 4 四半期会計期間より、原材料(黄銅材)価格をヘッジする長期のコモディティ・スワップ取引の会計処理について、繰延ヘッジ処理からヘッジ会計を適用せずに原則的な処理法、すなわち事業年度末に時価評価を行い、評価額は損益として処理する方法に変更したため、前第 1 四半期会計期間と当第 1 四半期会計期間で長期のコモディティ・スワップ取引の会計処理方法が異なっております。

なお、前第 1 四半期会計期間は、変更後の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益および四半期純利益は、それぞれ 33,063 千円多く計上されております。

② 有価証券の保有目的の変更

当社は、平成 21 年 6 月 26 日開催の定時株主総会において定款の変更が決議され、事業目的のうち「有価証券の保有および運用」が削除されました。これに伴い、当社保有の売買目的有価証券の保有目的区分を変更し、当第 1 四半期会計期間末でその他有価証券に変更しております。

なお、この変更に伴い、「有価証券」(流動資産) 39,697 千円を「投資有価証券」(固定資産)へ振り替えております。

以上